



## 狭山の元気 発見

# 躍

いきいき狭山人  
びと

華麗に激しくそして楽しく  
地域に密着した活動を続け  
踊りを通して「元気な狭山」を表現したい

「どっこいしょ！どっこいしょ！」ソーラン！ソーラン！」と威勢のよい掛け声と鳴子の軽やかな音に合わせ、

華麗な舞を披露するグループ狭山YOSAKOI紗恋乱は、市内の祭り会場などで活躍しています。チーム名は、「紗：シルクのように滑らかに」「恋：恋したときのドキドキ感を楽しみ」「乱：時に乱れ舞う」との想いから紗恋乱とつけたそうです。

高知のよさこい節と北海道のソーラン節をミックスして生まれたYOSAKOIソーラン。踊りのルールは、鳴子を両手に持ち、よさこい節かソーラン節のフレーズを曲のどこかに入れることだけです。チームでは、2年ごとにオリジナルの曲を作っていて、昨年の夏に桜をイメージした「桜華乱舞」を発表しました。曲ができ、半年以上練習を重ね、完成度を高めています。自分たちが納得しないと、観客の皆さんに伝わりませんから。一つのステージで舞うのは約15分、その時間の中で、持てるエネルギーのすべて

を全身で発散しています」と踊りに対するこだわりと情熱を語ってくれる代表の佐々木律子さんは、夏場の踊りは大変ですが、終わった後の達成感や爽快感は格別です。そして、拍手や声援をもらったときの感動が、私たちに次のステージへの励みを与えてくれます。昨年初めて参加した坂戸よさこい祭りでは、いろいろなチームの踊りに、大きな刺激を受けました」と続けます。



曲のイントロには、狭山音頭を入れて市のアピールも行っています

YOSAKOIソーランの楽しさを多くの方に知ってもらうため、市内の保育所や小・中学校で踊りを教えています。そして、その活動がきっかけで、柏原保育所が中心となったチームODORIKO「えん」が生まれました。チームは、現在43名、16の家

族でメンバーが構成されています。家族が同じ趣味を持ち、一つの目標に向かって頑張るのは素晴らしいことです。そして、家族間のつながりを大切に行っていることが、チームの結束につながっているのだと思います。

自治会・商店街のお祭りなどに参加し、年間16回以上のステージをこなす、地域に密着した活動を積極的に続けているメンバーたち。狭山新茶と花いっぱい祭りに始まり、七夕まつりなどで、華麗に舞う「紗恋乱」は、狭山の元気を表現してくれています。

YOSAKOIソーラン踊りチーム

狭山YOSAKOI紗恋乱

市民みなさんの声

# オピニオン

## びん・缶の収集方法が変わっても リサイクル意識を忘れないで



池田三香子さん  
(鷺ノ木在住)

私は、先月の広報さやまで、7月からびんと缶の収集が、カゴからビニール袋による収集となることを知りました。びん・缶を出すのは、早朝ということもあり、カゴに移すときに大きな音を出さないよう気をつけていますが、これからは、びんと缶を分けなくてもよくなるので、少し楽になります。でも、せっかく出すのが楽になっても、分別がいかにげんでは何にもなりませんね。今まで以上に、分別には気をつけたいと思います。

私が住んでいる鷺ノ木は、廃プラスチック類の分別収集が、まだ始まっていない地域です。リサイクルの意識を高めるために、分別収集された資源ごみが、どのように再利用されているのかを知ってもらえれば、リサイクルへの協力が、得られるのではないのでしょうか。

### 市の考え方

貴重なご意見をいただき大変ありがとうございます。市では、7月の収集からびん・缶の収集方法を変更しますが、これまでどおり、びんのキャップやふたなどが混入しないようご協力をお願いします。今後ともごみを出すときの分別意識が薄れないように、啓発に取り組んでいきます。

また、市では、上奥富の第一環境センター内に、ごみの減量やリサイクルの啓発などの情報発信の拠点となる新たな施設の整備を進めています。この施設の中でもリサイクルの仕組みなどの啓発を行っていきます。

担当 資源循環推進課

皆さんの「声」をお待ちしています。  
お寄せいただく際は、住所、氏名、電話番号をご記入ください。☎2954 6262(代)  
✉koho@city.sayama.saitama.jp

健康体操は誰にでもできるもので、毎日続けることが大切です。私たちは活動のない日には、先生に教えられたプログラムを自宅でも家族と一緒に楽しく続けています。気になる体型や体重などの数値に一喜一憂しながらも、仲間とともに楽しい汗をかくのは本当に気持ちがいいものです。皆さんも体に優しい健康体操をしてみませんか。

問合せ 堅石溪子さんへ  
2964 6795

私の宝物...

## 母から受け継いだ正絹の着物

幼いころから、和裁をする母の姿を見て育った私は、自然と着物に親しんできました。その母も15年前に亡くなり、私は、母が着ていた昭和初期の正絹の着物を自分が着るために着付けや踊りを習い、今でも大切に愛用して



林 勝子さん  
(中央在住)



母の思い出つまった着物

います。洋服などに仕立て直したものもあります。母の形見の着物たちは、長い年月を超えた今も語りかけてくれるようで、母の面影と幼い日々が思い出される、私の大切な宝物です。

次回は、趣味の先生で、広瀬東在住の方を紹介します。

# Hello ハロー 仲間たち

Vol.309



## 健康体操水富クラブ

私たちのクラブは、昭和52年に発足した健康運動サークルで、水富公民館で30年以上活動を続けています。現在、会員は22名。全員が女性で、みんな楽しい仲間たちです。

私たちの体操は、ストレッチやダンスなど、足腰を無理なくきたえる運動が中心ですが、脳のトレーニングになる指運動や、しりとりなどを取り入れているのが大きな特徴です。また、クラブの目的は、生活習慣病の予防と健康管理ですが、同時に会員同士の親睦も大切にしている、体操中でも、おしゃべりが弾むこともあります。